

「ヤーレ、ヤーレ」の掛け声が響く

# 夏の祭典 三沢まつり



今年の最優秀賞山車：歌舞伎十八番「暫」

## 三沢まつり



三沢市の夏の最大のお祭りで、8月24日の前夜祭から始まり「お通り」「中日」「お還り」と3日間開催されました。前夜祭は大雨で一部の催しが中止されましたが、4日間で参加者や沿道の見物客ら約10万3900人の祭り客が来場しました。初日の「お通り」は山車14台が市内を練り歩き、「中日」は三沢国際カーニバルパレード（みこしパレード）など開催、最終日の「お還り」に続き「山車別れ」で全ての山車がすれ違いざまに喧嘩太鼓を打ち鳴らし、「三沢まつり」を大いに盛り上げました。

### お通り(初日)



豪華絢爛な山車14台が色鮮やかな光を放ち、夜の市内を練り歩き沿道の観衆を魅了。

### 中日



三沢国際カーニバルパレードでは、大仮装行列や三沢まつり流し踊り、みこしパレードなどを披露。

### お還り(最終日)



元気いっぱいの子供達の声と太鼓が鳴り響き、喧嘩太鼓を打ち鳴らし祭りの醍醐味に酔いしれた。

### 三沢国際カーニバルパレード



三沢まつり流し踊り



姉妹都市の親善使節団



大仮装行列(その①)



大仮装行列(その②)



大仮装行列(その③)



みこしパレード

### — 三沢まつりの由来 —

大正11年に開通した私鉄十和田鉄道は、その軌道工事が困難であったため、資材や米俵の運搬用に荷車が利用され、俵を積んだ荷車が山車のはじまりとされています。

大正時代、古間木地区（JR三沢駅周辺）で火事が多く、同地区にある不動神社、権現神社、薬師神社の神々を楽しく遊ばせることにより、火を鎮めようと考えられたのが祭りのはじまりとされています。

